

ナショナルチーム編成基準要綱（H27年度版）

（目的）

1. この要綱は、公益社団法人日本ライフル射撃協会（以下「協会」という。）が、射撃競技の国際競技大会に於いて、メダルを獲得し得る選手の強化を図るために編成するナショナルチームの基準に関して必要な事項を定めることを目的とする。
2. この要綱はH27年度1年間運用し、運用の結果、見直しを行いH28年度以降の要綱を改めてH27年度に定めることとする。

（用語の定義）

3. この要綱で使用する用語の定義を次のように定める。
 - （1）「ナショナルチーム」とは日本を代表し、国際競技大会に於いて、メダルを獲得し得る選手の強化を図るために編成されたチームのことをいう。チームはナショナルコーチ（含むアシスタントナショナルコーチ）、JOC専任コーチングディレクター、ナショナルチーム選手、ナショナルチームスタッフにより構成され、選手強化委員会のもとに設置される。
 - （2）「ナショナルチーム選手」（以下NT選手という）とは、日本を代表する国際的な競技力と人格見識、及び旺盛な向上心を有し、かつ協会から認定を受けたものをいう。
 - （3）NT選手は、以下のカテゴリーに分類される。

<ライフル>

AカテゴリーとBカテゴリーに分類される。

Aカテゴリーは、H27年度当初にあつては、H26年11月全日本選手権終了時点でNTランキングの各種目1位の選手5名を指定する。H27年度中については、前述の5名に加え、指定試合で海外派遣基準Aをクリアし、かつNTランキング種目別5位以内に入っている選手はAカテゴリーとなる。また、オリンピック競技大会、世界選手権大会、ワールドカップ大会で入賞以上の成績を残した場合には、即時認定される。

Bカテゴリーは、海外派遣基準Bを1回クリアし、その時点でNTランキング5位以内に入っている選手をBカテゴリーとして認定する。

Aカテゴリーの任期は指定された年度及びその翌年度の2年間、Bカテゴリーは指定された派遣点数を撃った月を基準として年度末（3月末）までの1年間とする。ただし、1月から3月に派遣基準を撃った選手はAカテゴリーについては翌々年度、Bカテゴリーについては翌年度もNTとして登録される。

<ピストル>

AカテゴリーとBカテゴリーに分類される。

Aカテゴリーは、オリンピック競技大会、世界選手権大会、ワールドカップ大会で入賞以上の成績を残した場合に即時認定される。

Aカテゴリーの任期は指定された年度及びその翌年度の2年間、Bカテゴリーは指定された派遣点数を撃った月を基準として年度末(3月末)までの1年間とする。ただし、1月から3月に派遣基準を撃った選手はAカテゴリーについては翌々年度、Bカテゴリーについては翌年度もNTとして登録される。

なお、ライフル・ピストル共にこの基準は平成27年4月より適用される。

(4)「ナショナルチームスタッフ」(以下NTスタッフという)とは、理事会により任命される選手強化委員会委員やナショナルチームの技術的サポート、情報戦略サポート等を担当するものをいう。

(編成)

4. ナショナルチームの編成は、上記3で述べたナショナルコーチ、JOC専任コーチングディレクター、NT選手、NTスタッフをもって構成する。

(1) ナショナルチームの編成の年度は、毎年4月1日より翌年3月31日までの協会活動年度と同じ期間とする。

(2) 選手強化の重点はAカテゴリー、Bカテゴリーの順とする。

(3) 選手の総数はライフル・ピストル各15名以内を限度とする。

(対象種目)

5. ナショナルチームの対象とする競技種目は以下の通りとする。

<ライフル>5種目

(1) 男子

50mライフル3x40、50mライフル伏射、10mエアライフル

(2) 女子

50mライフル3x20、10mエアライフル

<ピストル>5種目

(1) 男子

50mピストル、10mエアピストル、25mラピッドファイアピストル

(2) 女子

25mピストル、10mエアピストル

(選手の選考)

6. NT選手の選考は以下の手順で選手強化委員会で決定し、理事会へ報告される。

<ライフル>

(1) 選考対象となる試合

- ・協会及びJOCが派遣を行った国際競技大会等
- ・第一回NT選考会（50m&10m、ダブルマッチ）H27年6月予定
- ・第二回NT選考会（50m&10m、ダブルマッチ）H27年9月予定
- ・第三回NT選考会（50m&10m、ダブルマッチ）H28年3月予定
- ・全日本選手権（50m、10m）
- ・全日本選抜（50m、10m）

選抜方法

上記の国内試合5試合計8回の記録ならびに国際競技大会等の1年間の記録の内、上位5回の記録の平均点順位による順位表を作成し、かつ海外派遣基準をクリアした選手をNT選手とする。平均点の整数値が同点の場合は、最近の試合の点数が高い選手が優遇される。

国際競技大会等の点数に関しては、予選も本選も対象試合とする。

<ピストル>

(1) 選考対象試合

- ・協会及びJOCが派遣を行った国際競技大会等
- ・全日本選手権
- ・全日本選抜
- ・全国春夏秋冬ピストル大会（H27年度は50m、25mは朝霞射場、10mは長瀬射場で開催。50m、25mはダブルマッチに変更する）
- ・エアピストルNT選考記録会（長瀬、ダブルマッチ）

なお、国際競技大会等については、予選本選ともに対象試合とする。

(2) 選抜方法

毎年12月に過去1年間の対象試合で海外派遣基準をクリアしたものをNT選手として選考する。海外派遣基準は、海外派遣の項目を参照のこと。

コーチ推薦に関しては、基準をクリアする選手が少ない場合等に、専任コーチングディレクター推薦の選手を若干名追加することがある。

当年度Aカテゴリーに属している選手が競技会に不参加または成績不振であった場合は、翌年度Bカテゴリーで残留する。なお、過去の成績や、将来性を考慮して選手強化委員会が翌年度もAカテゴリーで残留させることがある。

(派遣競技会)

7. 派遣選手の選考については、理事会の承認を受けた本要綱に基づいて選手強化委員会で決定し、理事会に報告する。

協会及びJOCが派遣を行う国際競技大会等の代表選手は原則として、Aカテゴリー選手、次いでBカテゴリー選手をもってあてる。

(1) オリンピック競技大会への派遣については以下の通りとする

(ア) ライフル・ピストル共に国別出場権(QP)を獲得した選手が、オリンピック開催年度のNT選手である場合は、その選手を代表候補選手として予定する。最終的には、H28年度要綱を作成する際(H27年11月)に選手強化委員会が選考し、理事会で決定する。

(イ) 代表選手の出場種目は選手強化委員会がそれを決定し、代表選手名簿とともに理事会に報告する。

(2) その他の国際競技大会派遣については、以下の順に選考する。

(ア) 国際競技大会派遣に関して、Aカテゴリー選手は特段の事情が無い限り常に派遣される。

(イ) ライフルは、H27年度は以下要領で派遣選手を選考する。

選考方法に関しては、NTランキング方式と海外派遣基準点方式の併用で選考する。

(A) A派遣基準をクリアし、かつNTランキング5位以上の選手はカテゴリーAとして派遣する。

(B) B派遣基準をクリアし、かつNTランキング5位以上の選手の上位より派遣予定枠まで派遣する。

派遣基準をクリアする選手が派遣予定枠よりも多い場合は、NTランキングの上位者から選抜する。逆に派遣基準をクリアする選手が派遣予定枠よりも少ない場合には、NTランキングの上位者から順に選抜する。

①派遣対象試合と派遣基準参照記録

・ WC チャンオン大会 (4/8-16 韓国)

2/27-3/1 NT選考記録会(長瀬予定・新設)までの国内指定試合6ヶ月以内の成績と1年前までの海外派遣試合成績が派遣基準点対象。

・ WC フォートベニング大会 (5/11-19 米国) ならびに WC ミュンヘン大会 (5/26-6/2 ドイツ)

3/27-29 NT選考記録会(長瀬)までの国内指定試合6ヶ月以内の成績と1年前までの海外派遣試合成績が派遣基準点対象。

なお、この WC2 大会は期間が近いこともあり、両試合にどのように出場させるかは、A カテゴリー選手の希望を優先させながら、選手強化委員会が調整する。

・ WC ガバラ大会 (8/6-16 アゼルバイジャン)

6/12-14 NT 選考記録会 (新潟) までの国内指定試合 6 ヶ月以内の成績と 1 年前までの海外派遣試合成績が派遣基準点対象。

・ アジア選手権 (11/1-12 クエート)

9/11-13 NT 選考記録会 (長瀬) までの国内指定試合 6 ヶ月以内の成績と 1 年前までの海外試合成績が派遣基準点対象。

なお、各派遣対象試合のエントリー締め切りの時期が現時点では不明であるので、場合によっては選考する参照記録の試合が変更になる可能性がある。その場合は事前に告知する。

★ナショナルチームランキング は指定 NT 選考会より 1 年前までの下記試合点数の上位 5 つを採用する。

<参考>

ナショナルチームランキングの指定試合

国内試合 (2014、2015 共通)

- ・ NT 選考記録会
- ・ 全日本選手権 (50m・10m)
- ・ 全日本選抜 (50m・10m)

海外試合

2014

- ・ 国際エアガン (ミュンヘン)
- ・ 第 4 回オーストリア・パノニア杯 (H27.2.10-2.16)
- ・ WC 4 大会 (フォートベニング、ミュンヘン、マリボル、北京)
- ・ 世界選手権
- ・ アジア大会
- ・ 世界大学選手権

2015

- ・ 国際エアガン (ミュンヘン)
- ・ 第 4 回国際グランプリ (クエート)
- ・ WC 4 大会 (チャンオン、フォートベニング、ミュンヘン、ガバラ)
- ・ ユニバーシアード大会グアンジュ・韓国
- ・ アジア選手権
- ・ WC ファイナル

海外派遣基準点数 (ライフル)

3×40M P60M AR60M 3×20W AR40W

A 派遣基準	1173 点	626.2 点	626.4 点	584 点	416.4 点
B 派遣基準	1165 点	624.0 点	623.9 点	578 点	415.1 点

(ウ) ピistol B カテゴリー選手については、直近ワールドカップ 3 試合の成績ならびに派遣対象となる海外試合の直近の国内指定試合 2 試合の成績で海外派遣基準をクリアしている場合は派遣される。派遣枠人数に満たない場合は、上記成績をもとにコーチ推薦により追加決定する。

海外派遣基準点数 (ピistol)

	F P	R F P	A P M	A P W	S P W
A 基準	559	581	581	383	582
B 基準	554	575	577	380	577

注：A 基準は 1 回達成、B 基準は 2 回達成でクリアとなる。

・ WC チャンオン

海外試合は 2014WC フォートベニングから 1 年間の記録を参照。国内試合は、10m は 12 月の NT 選考記録会、25m 50m は秋季と全日本を参照。

・ WC フォートベニングならびに WC ミュンヘン

海外試合は、WC ミュンヘンから WC ファイナルまで。

国内試合は、10m は 3 月の NT 選考記録会の 2 回、25m、50m は秋季 P と冬季 P の 2 回を参照する。

A カテゴリーは両方、B カテゴリーは分けて入れる (選手強化委員会で決定する)

・ WC ガバラ

海外試合は、世界選手権から 2015 の WC ミュンヘンまで。

国内試合は、10m は 5 月 NT 選考記録会と全日本の 3 回、25、50m は冬 P と春のダブルマッチの 3 回を参照する。

・ アジア選手権

海外試合は 2015 の 1 月国際エアガンから WC ガバラまで。

国内試合は、10m は 5 月 7 月の NT 選考記録会の 4 回、25m 50m は春 P と夏 P のダブルマッチの 4 回を参照する。

海外派遣枠が上記の基準でクリアする選手が不足し、埋まらない場合は対象試合の平均点順位の高い選手から選考する。

逆に対象選手が多い場合は、10m については NT 選考記録会のファイナル順位の高い選手を選考する。25、50m は対象試合の平均点順位の高い順に選考する。

海外派遣記録は MQS での派遣も記録として参照する。

なお、各派遣対象試合のエントリー締め切りの時期が現時点では不明であるので、場合によっては選考する参照記録の試合が変更になる可能性がある。その場合は事前に告知する。

(ナショナルチームのトレーニング計画等)

8. ナショナルチームは、その最終目標をオリンピックでのメダル獲得とする。ナショナルコーチ、JOC専任コーチングディレクター、NTスタッフは長期及び短期の目標を常に掌握し、NT選手は平素から射撃競技の代表としての自覚を持ち、自己練習に努めるとともに、計画された強化合宿に参加するものとする。
- ・ナショナルチームライフル、ピストル合同合宿を期首と期末の年2回開催する。期首の合宿では、チームビルディング、メンタルトレーニング、アンチドーピングを主体とした研修を行うと共に、個々人の年間の目標設定を行う。この目標は記録され、適宜進捗を選手強化委員会がチェックする。期末の合宿では、年間の振り返りを実施し、来期に向けた取り組み目標を明らかにする。
 - ・期中は、ライフル、ピストル各カテゴリー毎に合宿、訓練を実施する。選手とコーチ陣が合意した目標設定への進捗や課題を個人別に分析して、適切なアドバイスやサポートを実施する。JISS射撃場や長瀬NTCを有効活用し、フィジカルトレーニングや科学的なサポートが実施できる環境整備を行い、選手が射撃技術のコーチングだけでなく多方面からサポートが得られるように改善していく。
 - ・SB弾、AR弾のロット選定や映像分析、動作解析など科学的アプローチで選手の得点向上をサポートしていく。

(ナショナルチーム員の資格停止)

9. 以下の事項に該当するものは、NT選手の資格を停止するものとする。

(一般選手については、NT選考会に参加できないものとする。)

この措置は即時実施される。

なお、NT選考会への復帰の期限は、別途選手強化委員会で定める。

- (1) 特別な事情なくまたは無断でナショナルチーム合宿を欠席したもの。
- (2) 選手強化委員会の指導方針に反して故意に反発したもの、もしくはチームの秩序を乱したものの。
- (3) ナショナルチームの目的に反する行動を意図的に取り、選手強化委員会の是正の求めに応じないもの。
- (4) ドーピング防止規程に違反し競技者資格を停止されたもの。
- (5) ドーピング防止規程に定める居場所情報提出義務を怠り、競技外検査を過去18か月間に2回忌避したとみなされているもの。

(ランキング)

10. ランキングは以下の考え方で集計し協会ホームページに公表する。

1年間ローリングでランキング対象試合の記録を集計し、ベスト3の平均値順で発表する。

注：これは一般射手も含めたランキングであって、ライフルNTのNTランキングではない。

付則

1. この要綱は平成26年11月23日から実施される。